

今日は、最初に、目的と目標ということについてお話をします。

この二つの言葉は、同じような使い方をすることが多いと思います。しかし、それぞれの言葉が持つ意味は、大きく違います。辞書で調べてみますと、**目的**には、実現しようとして目指す事柄という意味がありました。目標のほうは、目的を達成するために設けた目当てというふうに書いてありました。

これは、速記を例に取って考えてみると分かりやすい**と思います**。私が速記を学んだのは、将来、速記者になるという目的があったからでありました。そして、その目的を達成するために目標を設定しました。それが速記技能検定であります。

皆さんも御存じのように、速記の検定は六級から一級までありまして、だんだん速度が速くなっていきます。ですから、まずは六級に合格

することを目標にしました。そして、それがクリアできたら五級というふうに、次の目標を定めていったのであります。その結果、一級に合格し、速記者になるという目的を達成することができたというわけであります。

何事もそうですが、目的を達成するためには、適切な目標を設定することが大事ではないか**と思います**。

それでは、次のお話をします。

私が住んでいる県には、全国で初めてできた条例があります。どういうものかといいますと、エスカレーターの上では立ち止まることを義務づけたのであります。ただし、守らなくても罰則はありません。いわゆる努力義務であります。さて、その効果はどうだったでしょうか。あの調査によりますと、エスカレーターを歩く人の割合は、ほとんど変わっていないということが分かりました。やはり、**歩くことが習慣に**

なっている人は、なかなか変えられないということだ**と思います**。

そもそも、日本では、エスカレーターの片側を空けて乗ることが暗黙のルールのようになっています。これは、先を急ぐ人のために空けておくものであり、世界でも多くの国で定着しつつあります。しかし、一方で、歩くのはやめたほうがいいと考える人が年々増えてきています。歩くこと**で思わぬ事故やけがにつながる危険があるからであります**。

最近のことですが、私は、駅のエスカレーターで二列に立ち止まって乗ると**いう経験**をしました。思ったよりストレスを感じませんでした。それ以来、この方法が定着していく**と思うようになりました**。(了)